取扱説明書

ラベルプリンター

EOS2 / EOS5

MADE IN GERMANY

以下の製品の
取扱説明書

シリーズ	型式
EOS	EOS2/200
	EOS2/300
	EOS5/200
	EOS5/300

発行日: 2024年03月 - **製品番号** 9003307

著作権について

本書および本書翻訳内容の所有権は、cab Produkttechnik GmbH & Co KGに帰属します。

本来の使用目的以外での本書の一部または全部を複製、改変、転載・転用、配布する場合は、cab社の書面による事前の承諾が必要です。

商標

Windowsは、 Microsoft Corporationの登録商標です。

cab社の製品には無料オープンソースソフトウエアが使用されています。
詳細はこちら www.cab.de/opensource。

編集内容

ご質問およびご意見は、本社所在地ドイツのcab Produkttechnik GmbH & Co KGにご連絡ください。

記載内容の更新について

本機器は継続的に技術開発が行われているため、本書に言及されている内容と機器で相違が生じる場合があります。

最新の記載内容については、www.cab.deを参照ください。

取引条件

納品およびサービス提供は、cab社の一般販売条件に従って行われます。

ドイツ
cab Produkttechnik GmbH & Co KG
Karlsruhe
Tel. +49 721 6626 0
www.cab.de

米国
cab Technology, Inc.
Chelmsford, MA
Tel. +1 978 250 8321
www.cab.de/us

台湾
cab Technology Co., Ltd.
Taipeh
Tel. +886 (02) 8227 3966
www.cab.de/tw

シンガポール
cab Singapore Pte. Ltd.
Singapore
Tel. +65 6931 9099
www.cab.de/en

フランス
cab Technologies S.à.r.l.
Niedermodern
Tel. +33 388 722501
www.cab.de/fr

メキシコ
cab Technology, Inc.
Juárez
Tel. +52 656 682 4301
www.cab.de/es

中国
cab (Shanghai) Trading Co., Ltd.
Shanghai
Tel. +86 (021) 6236 3161
www.cab.de/cn

南アフリカ
cab Technology Co., Ltd.
Randburg
Tel. +27 11 886 3580
www.cab.de/za

目次

1 序文 ... 4
1.1 注意事項 ... 4
1.2 適切な使用 ... 4
1.3 安全に関する注記 ... 5
1.4 環境 ... 5

2 インストール ... 6
2.1 機器の概要 ... 6
2.2 機器の開梱および設置 ... 8
2.3 機器の接続 ... 8
2.3.1 電源に接続する ... 8
2.3.2 コンピューターまたはコンピューターネットワークに接続する ... 8
2.4 機器のスイッチをオンにする ... 8

3 タッチスクリーンディスプレイ ... 9
3.1 スタート画面 ... 9
3.2 メニュー内のナビゲーション ... 11

4 材料を挿入する ... 12
4.1 ロール材料を挿入する ... 12
4.2 ラベルエッジセンサーを調整する ... 13
4.3 転写フィルムを挿入する ... 14
4.4 転写フィルムフィードを調整する ... 15

5 印刷操作 ... 16
5.1 切取りモードでの印刷 ... 16
5.2 カッティングモードでの印刷 ... 16

6 清掃 ... 17
6.1 清掃に関する注記 ... 17
6.2 プリントローラーを清掃する ... 17
6.3 プリントヘッドを清掃する ... 18

7 トラブルシューティング ... 19
7.1 エラー表示 ... 19
7.2 エラーメッセージとトラブルシューティング ... 19
7.3 問題解決法 ... 21

8 ラベル / 連続テープ ... 22
8.1 ラベル / 連続テープの寸法 ... 22
8.2 機器の各寸法 ... 23
8.3 反射マークの寸法 ... 24
8.4 パンチの寸法 ... 25

9 許認可 ... 26
9.1 EU適合性宣言書に関する注記 ... 26
9.2 FCC ... 26

10 索引 ... 27

1 序文

1.1 注意事項

本書では、重要な情報および注記には以下のマークが付けられています:

危険!
危険な電圧による健康または生命に差し迫った重大な危険が生じることについての警告を示しています。

危険!
回避しなかった場合、死亡や重傷を招く非常に危険を伴う状態についての注意を示しています。

警告!
回避しなかった場合、死亡や重傷を招く中程度の危険を伴う状態が生じる可能性があることについての注意を示しています。

注意 !
回避しなかった場合、中程度または軽度の負傷を招く僅かな危険を伴う状態が生じる可能性があることについての注意を示しています。

注意 !
物的損傷または品質低下を招く可能性があることについての注意を示しています。

注記 !
簡単な作業手順についてのアドバイス、または重要な作業手順についての注意事項を示します。

環境 !
環境保護に関するヒントを示しています。

▶ 手順の指示。

▷ 章、位置、図番号、文書の参照。

∗ オプション (付属品、周辺機器、特別装備)。

時間 ディスプレイの表示。

1.2 適切な使用

- 本機は、最新技術を採用し、適用される安全規則に従って製造されています。しかしながら使用するに当たり、ユーザーまたは第三者の身体や生命に危険を及ぼしたり、機器やその他の物品に損傷を招く場合があります。
- 本機は、技術的に正常な状態で、使用目的に即し、安全かつ潜在的危険を認識して、本取扱説明書の記載内容を順守して使用しなければなりません。
- 本機は、印刷に適した材料のみを使用することが規定されています。これ以外のその他の使用目的は規定に即していないものとみなされます。誤使用により生じた損傷については、メーカー/販売会社は一切の責任を負わず、ユーザー自身が責任を負うものとします。
- 使用目的には、取扱説明書の遵守も含まれます。

1.3 安全に関する注記

- 本機は、定格電圧100 V ~ 240 Vの交流電源用に設計されています。本機器は、必ず保護接地端子を備えたコンセントに接続してください。
- 本機器は、安全特別低電圧のかかった機器とのみ接続してください。
- 接続を確立する前、および接続を外す前に、当該のすべての機器(コンピューター、プリンター、付属機器)のスイッチをオフにしてください。
- 本機器は、乾燥した環境でのみ作動させ、湿気(水の飛散、蒸気など)にさらさないでください。
- 本機器は、爆発の可能性がある雰囲気で使用しないでください。
- また、高電圧線付近では使用しないでください。
- カバーを開いた状態で本機器を作動させる場合、衣服、頭髪、アクセサリーなどが露出している回転部品に接触しないように注意してください。
- 機器や部品は、印刷中に高温になる場合があります。作動中は機器に触れず、材料交換および取外し作業は、冷ましてから行ってください。
- カバーを閉じる際に挟まれる危険。カバーを閉じる際は外側のみを持ち、カバーの移動領域を掴まないでください。
- 本取扱説明書に記載されている取扱方法のみを実施してください。
  その他の作業については、トレーニングを受けた作業者またはサービスエンジニアのみが実施します。
- 電子コンポーネントおよびこれらのソフトウェアに不適切な介入を行うと、障害を招く場合があります。
- また機器に不適切な作業や変更を行うと、運転安全性を損なう場合があります。
- サービス作業は、必ず作業に必要となる専門知識および工具を有する、正規の作業工場に依頼してください。
- 危険が認識されなくなるため、これらの警告ラベルは取り外さないでください。
- 最大騒音レベルは70 dB(A)以下です。

危険!
電源電圧による生命の危険。
▶ **機器のハウジングを開かないでください。**

警告!
本機器は、クラスAに分類されています。この装置は、住居領域において電波障害を引き起こす場合があります。この場合、事業者に適切な対策を講じるよう要請してください。

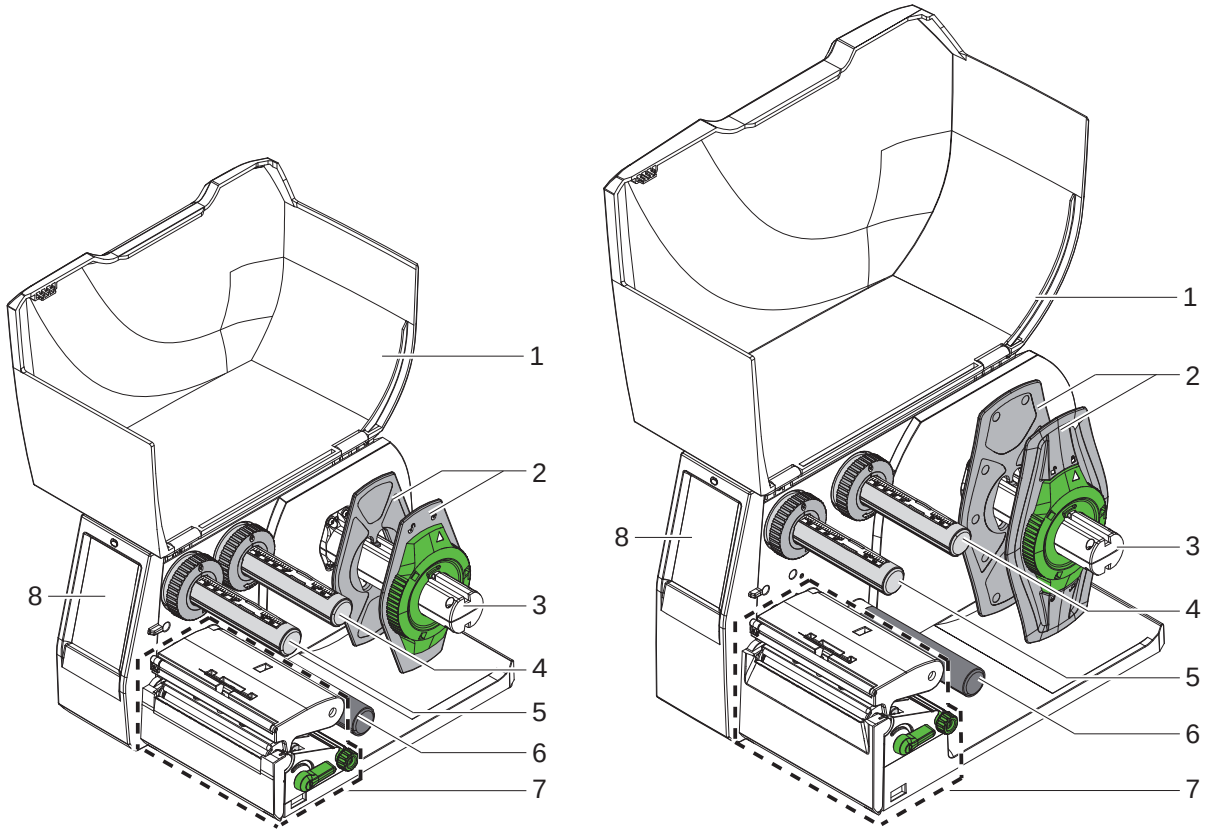
1.4 環境

使用済みの機器には、再利用に回収するべきリサイクルが可能な貴重な材料が含まれています。
▶ 一般廃棄物と分類し、適切な収集所へ廃棄してください。
本プリンターはモジュラー構造であるため、構成部品は分解することができます。
▶ 部品はリサイクルしてください。

機器の電子基板には、リチウムバッテリーが装備されています。
▶ このため、これらは販売店の使用済みバッテリー回収ボックスまたは公共の廃棄物回収所へ引き渡してください。

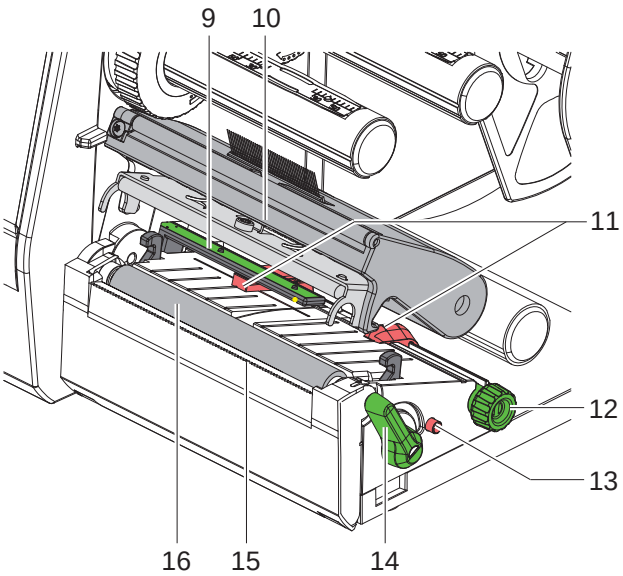
2 インストール

2.1 機器の概要



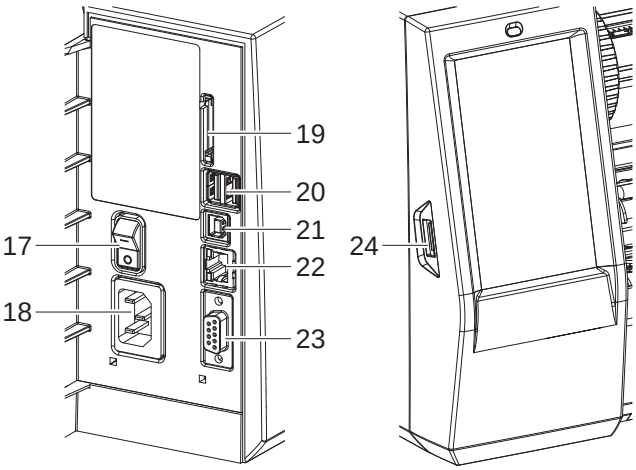
1 カバー
2 マージンストップ
3 ロールホルダー
4 転写フィルム巻出し機
5 転写フィルム巻取り機
6 リターンプーリー
7 印刷ユニット
8 タッチスクリーンディスプレイ

画像 1 概要



9 ラベルエッジセンサー
10 プリントヘッド付きヘッドホルダー
11 マージンストップ
12 マージンストップ設定用回転ボタン
13 ラベルエッジセンサー設定用回転ボタン
14 プリントヘッドロック用レバー
15 切取りエッジ
16 プリントローラー

画像 2 印刷ユニット



17 電源スイッチ
18 電源コネクター
19 SDカード挿入スロット
20 キーボード、スキャナー、USBメモリーデバイス、ＷＬＡＮスティック、サービスキー
用USBマスターインターフェース2箇所
21 USBフルスピードスレーブインターフェース
22 イーサーネット 10/100 Base-T
23 RS-232インターフェース
24 キーボード、スキャナー、USBメモリーデバイス、ＷＬＡＮスティック、サービスキー
用USBマスターインターフェース

画像 3 各接続端子

2.2 機器の開梱および設置

▶ ラベルプリンターを梱包箱から取り出します。
▶ ラベルプリンターに輸送による損傷が生じていないか点検します。
▶ プリンターを平坦な台に設置します。
▶ プリントヘッド領域にある発泡スチロール製の輸送保護材を取り除きます。
▶ 納品内容がすべて揃っていることを確認します。

納品内容:

- ラベルプリンター
- 電源ケーブル
- USBケーブル
- 取扱説明書

注記！
後に搬送に使用できるように、梱包箱は保管してください。

注意！
湿気および水分による機器および印刷材の損傷。
▶ ラベルプリンターは、乾燥した水滴などがかからない場所に設置してください。

2.3 機器の接続

標準装備で装備されているインターフェースおよび接続端子は、画像 3 に表示されています。

2.3.1 電源に接続する

プリンターには、ワイドレンジ対応電源アダプターが装備されています。主電源電圧230 V ~ /50 Hzまたは115 V ~ /60 Hzで作動させる場合は、機器に変更を施さず使用することができます。

1. 機器のスイッチがオフになっていることを確認します。
2. 電源ケーブルを電源コネクター (18/画像 3) に差し込みます。
3. 電源ケーブルのプラグを接地されているソケットに差し込みます。

2.3.2 コンピューターまたはコンピューターネットワークに接続する

注意！
不適切な接地、または接地されていない場合、作動中に障害が生じる場合があります。
ラベルプリンターに接続されているすべてのコンピューターおよび接続ケーブルが接地されていることを確認してください。

▶ ラベルプリンターを適切なケーブルを使用して、コンピューターまたはネットワークに接続します。

各インターフェース構成についての詳細情報 ▷ 構成説明書。

2.4 機器のスイッチをオンにする

すべての接続が確立された後:

▶ プリンターを電源スイッチ(17/画像 3)でオンにします。
プリンターでシステムテストが実行され、その後ディスプレイにシステムステータス Readyが表示されます。

3 タッチスクリーンディスプレイ

タッチスクリーンディスプレイを使用して、ユーザーは次のようにプリンターの操作を制御することができます:

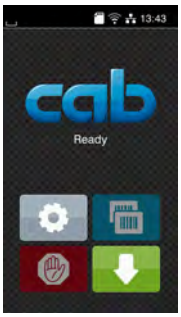
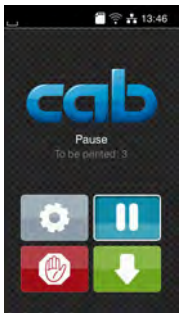
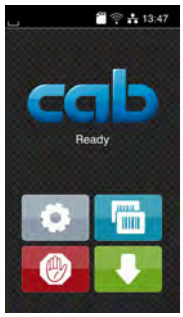
- 印刷ジョブの中断、続行、キャンセル
- プリントヘッドの加熱、印刷速度、インターフェースの構成、言語、時刻など印刷パラメーターの設定 (▷ 構成説明書)
- 記憶媒体によるスタンドアローンモードの制御 (▷ 構成説明書)
- ファームウェアアップデートの実行 (▷ 構成説明書)

多くの機能および設定は、ソフトウェアアプリケーションによるプリンター独自のコマンドまたはコンピューターで直接プログラミングすることで制御することができます。詳細情報▷ プログラミング説明書。

タッチスクリーンディスプレイで行われる設定は、ラベルプリンターの基本設定として適用されます。

注記！
さまざまな印刷ジョブの調整はソフトウェアで実施すると便利です。

3.1 スタート画面

			
スイッチをオンにした後	印刷中	一時停止状態	印刷ジョブ後

画像 4　スタート画面

タッチスクリーンは、指で直接触れて操作します。

- メニューを開く、またはメニューオプションを選択するには、対応するアイコンに軽くタッチします。
- リストをスクロールするには、ディスプレイ上で指を上下に移動させます。

	メニューにジャンプ		最後のラベルを繰り返し印刷する
	印刷ジョブを中断する		短押し: 現在の印刷ジョブを削除する 長押し: すべての印刷ジョブを削除する
	印刷ジョブの続行		ラベル送り速度

表 1　スタート画面でのボタン

注記！
無効化されているボタンは暗く表示されます。

3 タッチスクリーンディスプレイ

10

一部のソフトウェア設定またはハードウェア設定では、スタート画面に追加のアイコンが表示されます:

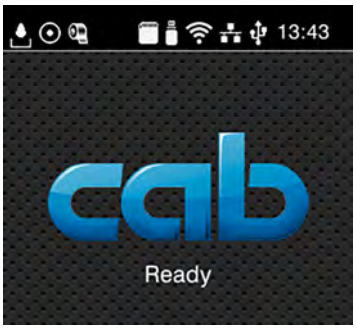
印刷ジョブなしでリクエストに応じて印刷する	印刷ジョブでリクエストに応じて印刷する	カッター（付属品）を接続した場合の直接切断

画像 5　スタート画面でのオプションボタン

	印刷ジョブでの各ラベルのカットなどを含む印刷の開始。		材料搬送なしのダイレクトカットの実行。

表 2　スタート画面でのオプションボタン

設定に応じて、ヘッダーにはウィジェット形式でさまざまな情報が表示されます:

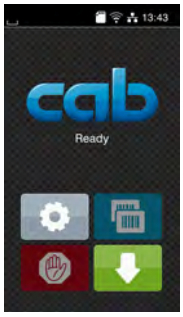
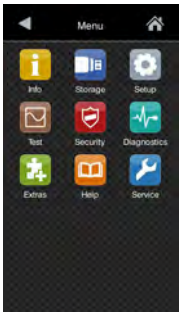


画像 6　ヘッダーのウィジェット

	インターフェース経由でのデータの受信は、落下する水滴アイコンで表示されます。
	機能Record data streamが有効 ▷ 構成説明書。 受信したすべてのデータは .lblファイルに保存されます。
	フィルム終了の事前警告 ▷ 構成説明書。 フィルムストックロールの残り直径が設定された値を下回りました。
	SDカードが挿入されています。
	USBメモリーが挿入されています。
	WLAN接続が有効。 白い扇型のアイコンはWLAN電波強度を示しています。
	イーサーネット接続が有効。
	USB接続が有効。
abc	abcプログラムが有効。
15:14	時刻。

表 3　スタート画面のウィジェット

3.2 メニュー内のナビゲーション

		
スタートレベル	選択レベル	パラメーター/機能レベル

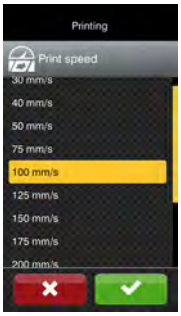
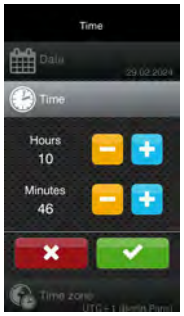
画像 7　メニューレベル

▶ メニューへジャンプするには、スタートレベルで を押します。

▶ 選択レベルでテーマを選択します。
各テーマには、その他の選択レベルを含むサブストラクチャが備わっています。
で上位のレベルへ戻り、でスタートレベルへ戻ります。

▶ パラメーター/機能レベルに達するまで選択を続行します。

▶ 機能を選択します。場合によっては、プリンターはダイアログが準備された後に機能を実行します。
- または -
パラメーターを選択します。設定オプションはパラメーターのタイプによって異なります。

			
ロジックパラメーター	選択パラメーター	数値パラメーター	日付/時刻

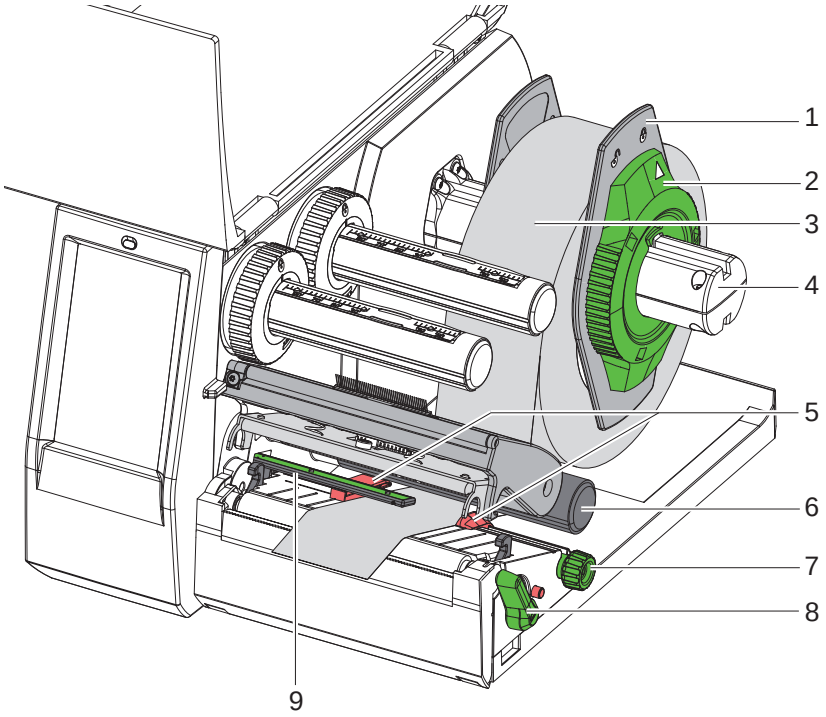
画像 8　パラメーター設定の例

	値の大まかな設定を行うためのスライドバー
	値を徐々に低減する
	値を徐々に上昇する
	設定を保存せずに終了する
	設定を保存して終了する
	パラメーターは無効になっており、ボタンを押すとパラメーターが有効になります
	パラメーターは有効になっており、ボタンを押すとパラメーターが無効になります

表 4　機能ボタン

4 材料を挿入する

4.1 ロール材料を挿入する



画像 9　ロール材料を挿入する

1. 調整リング (2) を反時計回りに回し、矢印が🔓の記号を指し、マージンストップ (1) が外れるようにします。
2. マージンストップ (1) をロールホルダーから (4) 抜き取ります。
3. 材料ロール (3) は、材料の印刷する側の面が上方を向くようにロールホルダー (4) に押し込みます。
4. マージンストップ (1) をロールホルダー (4) にはめ込み、両方のマージンストップが材料ロール (3) に密着し、押し込んだ際にはっきりと抵抗が感じられるまで押し込みます。
5. 調整リング (2) を時計回りに回し、矢印が🔒の記号を指し、マージンストップ (1) がロールホルダーにかみ合うようにします。
6. プリントヘッドを開けるには、巻取り機 (8) を反時計回りに回します。
7. 刻み付きノブ (7) を使用して、両方のマージンストップ間に材料が合うようにマージンストップ (5) を調整します。
8. リターンローラー (6) の下で材料をプリントユニットに通します。

注意！

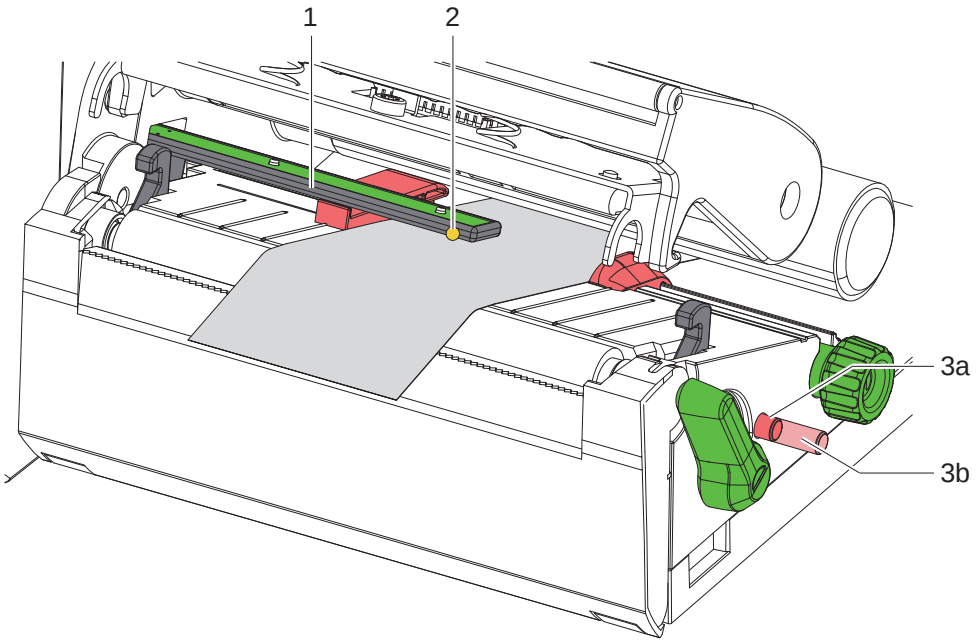
▶ **材料はラベルエッジセンサー (9) の下に沿って通してください。**

9. 材料が詰まることなく通るようにマージンストップ (5) を位置決めします。
10. ラベルエッジセンサーを調整する (▷ 4.2 ページ 13)。
11. ヘッドホルダーを下に押し、巻取り機 (8) を時計回りに回します。

4.2 ラベルエッジセンサーを調整する

注記！
出荷時には、ラベルセンサー（2）は用紙フィードの中間にあります。
ラベルエッジセンサー（1）の調整は、特定の材料を使用する場合のみ必要です。

- **反射マークまたはパンチが中心から外れている材料**
- **トラック数が偶数である複数列の材料**
- **不規則的に形成されたラベルのある材料**



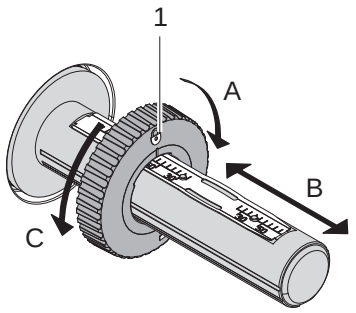
画像 10　ラベルエッジセンサーを調整する

センサーの位置は黄色ＬＥＤでマークされています。

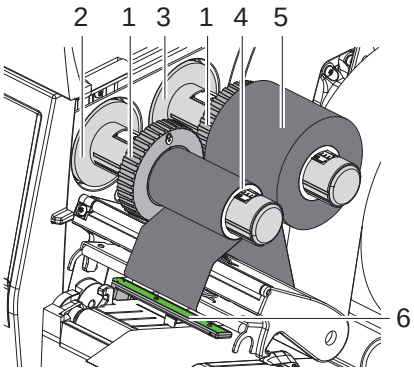
1. プリントヘッドを開けます。
2. 回転ボタン（3）を押して設定位置（3b）に動かします。
3. 回転ボタン（3）を回して、センサー（2）がラベルのフロントエッジ、反射マークまたはパンチを捕捉できるように、ラベルエッジセンサーを位置決めします。
4. 回転ボタン（3）を再び押して基本位置（3a）に動かします。

4.3 転写フィルムを挿入する

注記！
熱転写印刷を行う場合は、転写フィルムは挿入しないでください。必要に応じて挿入されている転写フィルムは取り除いてください。



画像 11　マージンストップの設定



画像 12　転写フィルムを挿入する

1. 転写フィルムを挿入する前にプリントヘッドを清掃してください (▷ 6.3 ページ 18)。
2. プリントヘッドを開けます。
3. 巻出し機 (3) のマージンストップ (1) を転写フィルムの幅に応じて設定します (画像 11) :
- 巻き出し機を押さえて、マージンストップ (1) をA方向に回して解錠します。
- マージンストップ (1) をB方向にスライドし、目盛を使って転写フィルムの幅に合わせます。
- 巻き出し機を押さえて、マージンストップ (1) をC方向に回してロックします。
4. 転写フィルムロール (5) は、巻き出す際にフィルムのカラーコーティングが下方を向くように巻出し機 (3) のマージンストップ (1) まで押し込みます。

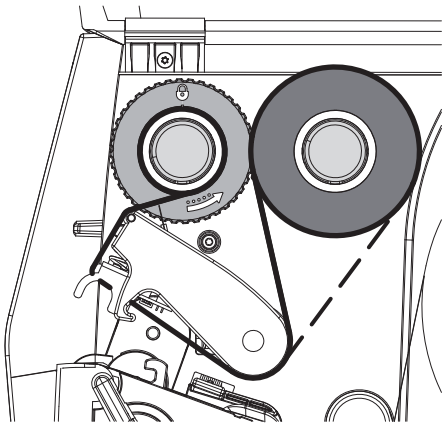
注記！
フィルムの巻き出しには、少なくともストックロールと同じ幅のフィルム芯 (4) が必要です。

▶ **転写フィルム芯は転写フィルムを交換する際の巻き出しに使用します。**

5. 巻き出し機のマージンストップの位置をフィルム芯 (4) の幅に合わせて、フィルム芯を巻き出し機 (2) までスライドします。
6. 転写フィルムを画像 13に示されたとおり、印刷ユニットに通します。

注意！
▶ **転写フィルムをラベルセンサー (6) の上に通します。**

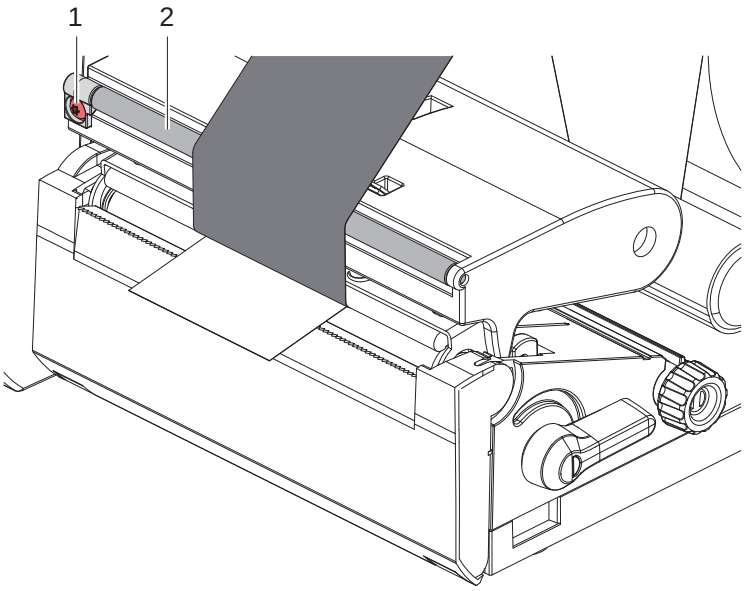
7. 転写フィルム開始部分を接着テープでフィルム芯 (4) の中心に固定します。この際、転写フィルム巻取り機の回転方向が反時計回りになっていることに注意します。
8. 転写フィルムフィードをスムーズにするには、転写フィルム巻取り機 (2) を反時計回りに回します。
9. プリントヘッドを閉めます。



画像 13　転写フィルムフィード

4.4 転写フィルムフィードを調整する

転写フィルムフィードでしわが生じると、印刷イメージエラーを招く場合があります。しわの生成を回避するため、転写フィルムデフレクター (2) を調整することができます。



画像 14　転写フィルムフィードを調整する

注記！
調整は印刷プロセス中に最適に行うことができます。

▶ ねじ (1) をトルクスドライバーTX10で回し、フィルムの状態を観察します。
- 時計回りに回すと、フィルムの外側がぴんと張ります。
- 反時計回りに回すと、フィルムの内側がぴんと張ります。

注意！

不適切な取扱いによるプリントヘッドの損傷!

- ▶ **プリントヘッドの下部が指や先の尖ったものと触れないようにしてください。**
- ▶ **ラベルに汚れがないことを確認してください。**
- ▶ **ラベル表面が滑らかであることに注意します。粗いラベルは研磨剤のように影響し、プリントヘッドの寿命を低減します。**
- ▶ **可能な限り低いプリントヘッド温度で印刷してください。**

接続が確立され、ラベルまたは場合により転写フィルムが挿入されるとプリンターは作動準備が完了しています。

5.1 切取りモードでの印刷

印刷後、材料テープは手で切り取ります。このためにプリンターには、切取りエッジが装備されています。

5.2 カッティングモードでの印刷

＊ EOS2とEOS5には、付属品としてカッターが使用できます。カッターを取り付けることで、ラベルおよびエンドレス材料を印刷後に自動的にカットすることが可能になります。

6 清掃

6.1 清掃に関する注記

危険!
感電による生命の危険！
▶ メンテナンス作業を行う前に必ずプリンターの電源を切断してください。

ラベルプリンターの手入れは非常に簡単です。
サーモプリントヘッドを定期的に清掃することが重要です。これにより、均一で良質な印刷画像を確保し、プリントヘッドの早期摩滅を回避することができます。
これにより、実施するメンテナンス作業は毎月の機器の清掃のみになります。

注意！
腐食性のあるクリーニング剤によるプリンターの損傷!
機器の表面や部品の清掃に研磨剤または溶剤を使用しないでください。

推奨洗浄剤	
加圧ローラーと偏向ローラー	ローラークリーナー W1 (品番 9200051)
印刷列とエッジセンサー	99.9%以上のイソプロパノール
機器のその他の表面	70 ~ 100%のイソプロパノール

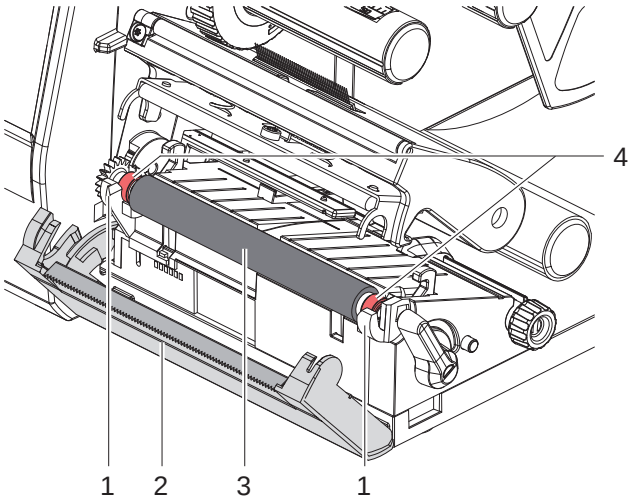
表 5　推奨洗浄剤

▶ 印刷領域の埃や紙粉は、柔らかな筆や掃除機で取り除きます。

6.2 プリントローラーを清掃する

プリントローラーでの汚れは、印刷画像および材料搬送に悪影響を及ぼします。

注意！
プリントローラーの損傷。
▶ プリントローラーの清掃には尖ったもの (カッター、スクリュードライバーなど) を使用しないでください。



画像 15　プリントローラー

▶ プリントヘッドを開けます。
▶ ラベルをプリンターから取出します。
▶ 切取りエッジ (2) を押し上げます。
▶ プリントローラー (3) を先ず内側、次に外側で保持器 (1) から上に持ち上げます。
▶ ローラークリーナーW1と柔らかなクロスで蓄積物を取り除きます。
▶ プリンターを再度使用する前に、約2〜3分待ちます。
▶ ローラーに損傷がある場合は、ローラーを交換します。
▶ プリントローラーをベアリング (4) で保持器 (1) にぴったりはまるまで押します。
▶ 切取りエッジ (2) を押し下げます。

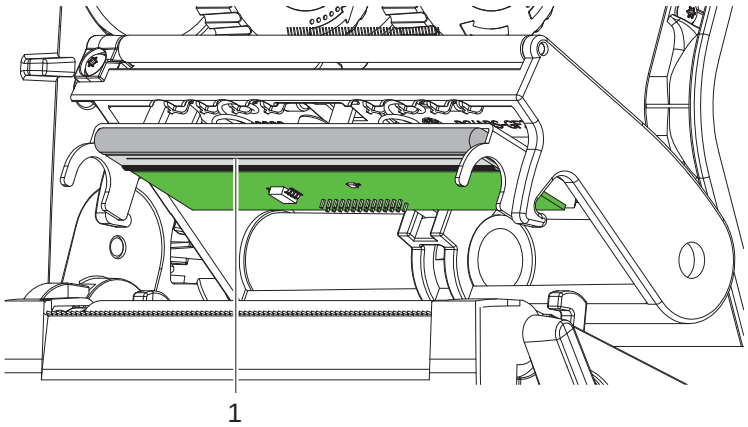
6.3 プリントヘッドを清掃する

清掃間隔 :	直接熱転写印刷	- ラベルロールを交換するごとに実施
	熱転写印刷	- 転写フィルムのロールを交換するごとに実施

印刷中にプリントヘッドにコントラスト誤差や縦縞などによる印刷画像に悪影響を与える汚れが蓄積することがあります。

注意！
プリントヘッドの損傷！
- ▶ **プリントヘッドの清掃には、先が尖ったものや固いものを使用しないでください。**
- ▶ **プリントヘッドのガラス保護層に触れないでください。**

注意！
高温になったプリントヘッドによる火傷の危険。
- ▶ **清掃前にプリントヘッドが冷えていることに注意してください。**



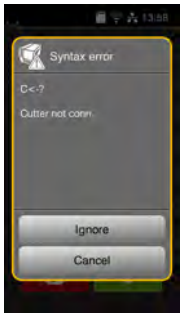
画像 16　プリントヘッドのヒーター列

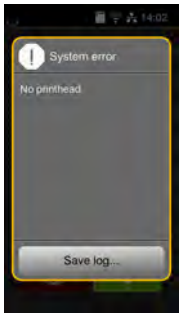
- ▶ プリントヘッドを上方へ移動させます。
- ▶ ラベルおよび転写フィルムをプリンターから取出します。
- ▶ 99.9%以上のイソプロパノールに浸した綿棒または柔らかい布でプリントヘッドを清掃します。
- ▶ プリントヘッドを2～3分間乾燥させます。

7 トラブルシューティング

7.1 エラー表示

エラーが生じた場合、ディスプレイにはエラーが表示されます:





画像 17　エラー表示

トラブルシューティングはエラーの種類によって異なります▷ 7.2 ページ 19。
操作を続行するため、エラー表示には以下のオプションが適用されます:

Repeat	エラー原因を取り除いた後、印刷ジョブが続行されます。
Cancel	現在の印刷ジョブがキャンセルされます。
フィード	ラベル搬送が再度同期化されます。その後、ジョブをRepeatで続行することができます。
Ignore	エラーメッセージが無視され、場合によっては印刷ジョブが制限された機能で続行されます。
Save log	エラーによって印刷プロセスが実行できません。 詳しく分析するため、外部メモリーにさまざまなシステムファイルを保存することができます。

表 6　エラー表示でのボタン

7.2 エラーメッセージとトラブルシューティング

エラーメッセージ	原因	対策
Barcode error	無効なバーコードコンテンツ、例えば数値バーコードにアルファベット文字が含まれているなど。	バーコードコンテンツを修正します。
Barcode too big	バーコードがラベルに割り当てられた領域には大きすぎます。	バーコードを縮小するか、移動させます。
Buffer overflow	データ入力バッファがいっぱいで、コンピューターがさらにデータを送信しようとしています。	プロトコルによるデータ転送を使用します(RTS/CTS推奨)。
Cutter blocked	カッターが不明な状態で材料に留まっています。	プリンターのスイッチをオフにします。 詰まった材料を取り除きます。 プリンターのスイッチをオンにします。 印刷ジョブを再開します。 材料を交換します。
	カッターが機能しません。	プリンターのスイッチをオフにし、再びオンにします。 再度このエラーが生じた場合は、サービススタッフにご連絡ください。
Cutter jammed	カッターが材料を切断できませんが、初期位置に戻ることができます。	Cancelを押します。 材料を交換します。
Device not conn.	既存の機器でプログラミングが反応しません。	代替機器を接続するか、プログラミングを修正します。
File not found	記憶媒体で存在しないファイルの呼出しが行われました。	記憶媒体の内容を点検してください。
Font not found	選択されたダウンロードフォントでのエラー。	印刷ジョブを中断し、 フォントを切り替えます。
Memory overflow	印刷ジョブが大きすぎます: 例えば取り込まれたフォント、容量の大きい画像など。	印刷ジョブを中断します。 印刷するデータの容量を低減します。

エラーメッセージ	原因	対策
Name exists	ダイレクトプログラミングでフィールド名が重複しています。	プログラミングを修正してください。
No label found	ラベルストリップ上で複数のラベルが不足しています。	ストリップ上で次のラベルが検出されるまでRepeatを押します。
	ソフトウェアで指定されたラベル形式が実際の形式と一致しません。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアでラベル形式を変更します。 印刷ジョブを再開します。
	プリンターに連続テープが挿入されていますが、ソフトウェアはラベルに設定されています。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアでラベル形式を変更します。 印刷ジョブを再開します。
No label size	ラベルサイズがプログラミングで定義されていません。	プログラミングを点検します。
Out of paper	印刷する材料がなくなりました。	材料を挿入します。
	用紙フィードでエラーが生じました。	用紙フィードを点検します。
Out of ribbon	転写フィルムがすべて使用されました。	新しい転写フィルムを挿入してください。
	印刷時に転写フィルムが溶解しました。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアからヒーターレベルを変更します。 プリントヘッドを清掃する ▷ 6.3 ページ 18。 転写フィルムを挿入します。 印刷ジョブを再開します。
	サーマルラベルを処理する必要がありますが、ソフトウェアでは熱転写印刷に切り替えられています。	印刷ジョブを中断します。 ソフトウェアで熱転写印刷に切り替えます。 印刷ジョブを再開します。
Printhead open	プリントヘッドがロックされていません。	プリントヘッドをロックしてください。
Printhead too hot	プリントヘッドの異常な加熱 。	一時停止した後、印刷ジョブが自動的に続行されます。 再度発生した場合は、ヒーターレベルまたは印刷速度をソフトウェアで低減してください。
Read error	記憶媒体へのアクセスの際の読み取りエラー。	記憶媒体上のデータを点検します。 データを保存します。 記憶媒体を再フォーマットします。
Remove ribbon	直接熱転写印刷に設定されているにも関わらず、転写フィルムが挿入されています。	直接熱転写印刷を行うため、転写フィルムを取り除きます。
		熱転写印刷を行うため、プリンター設定またはソフトウェアで転写印刷をオンにします。
Syntax error	プリンターがコンピューターから不明なまたは誤ったコマンドを受信しました。	エラーをスキップするにはIgnoreを押し、印刷ジョブをキャンセルするには Cancelを押します。
Unknown card	記憶媒体がフォーマットされていません 記憶媒体タイプがサポートされていません。	記憶媒体をフォーマットする、または別の記憶媒体を使用します。
Voltage error	ハードウェアエラー。	プリンターのスイッチをオフにし、再びオンにします。 再度このエラーが生じた場合は、サービススタッフにご連絡ください。 どの電圧が機能停止したか表示されます。これらをメモしてください。
Write error	ハードウェアエラー。	書き込みプロセスを繰り返し実行します。 記憶媒体を再フォーマットします。

表 7　　エラーメッセージとトラブルシューティング

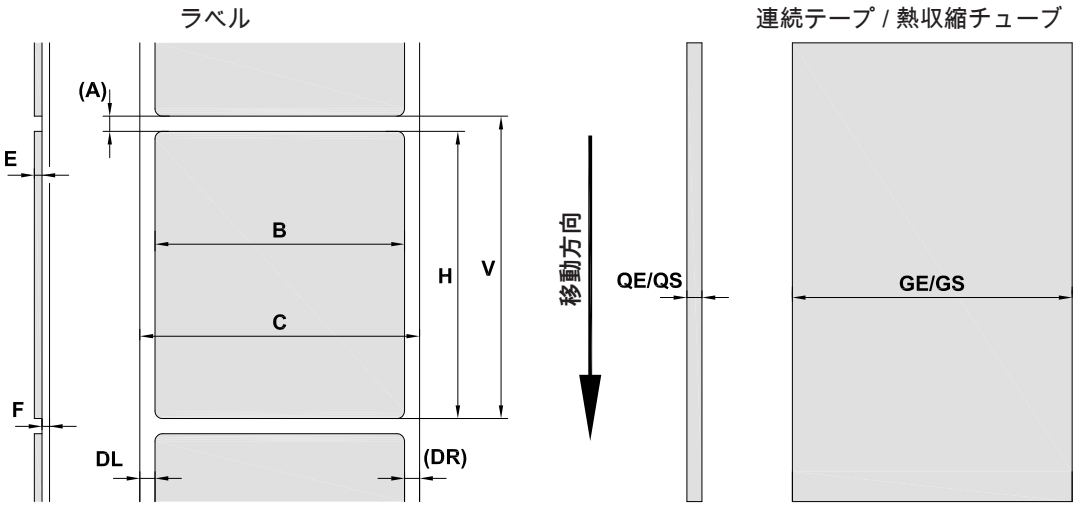
7.3 問題解決法

問題	原因	対策
転写フィルムがねじれている	転写フィルムデフレクターが調整されていません。	転写フィルムフィードを調整する。 ▷ 4.4 ページ 15。
	転写フィルムの幅が大きすぎる。	ラベルよりも僅かに幅の狭い転写フィルムを使用します。
印刷画像にずれまたは空白部分があります	プリントヘッドが汚れています。	プリントヘッドを清掃する。 ▷ 6.3 ページ 18。
	温度が高すぎる。	ソフトウェアから温度を低減します。
	ラベルと転写フィルムの不適切な組合せ。	別のフィルム種類または他社製のフィルムを使用します。
転写フィルムが終了したにもかかわらず、プリンターが停止しない	ソフトウェアで熱印刷が選択されています。	ソフトウェアで熱転写印刷に切り替えます。
プリンターがラベル形式ではなく、文字列を印刷する	プリンターがASCII ダンプモードになっています。	ASCII ダンプモードを終了します。
プリンターがラベル材料を搬送し、転写フィルムを搬送しない	転写フィルムが正しく挿入されていません。	転写フィルムフィードおよびコーティング面の配置を点検し、必要に応じて修正します。
	ラベルと転写フィルムの不適切な組合せ。	別のフィルム種類または他社製のフィルムを使用します。
プリンターがラベルを2つおきにのみ印刷する	ソフトウェアでのフォーマット設定が大きすぎます。	ソフトウェアでフォーマット設定を変更します。
印刷画像に白色の縦線が生じる	プリントヘッドが汚れています。	プリントヘッドを清掃します。 ▷ 6.3 ページ 18。
	プリントヘッドの故障 (加熱点の機能停止)。	プリントヘッドを交換します。 ▷ サービス説明書。
印刷画像に白色の横線が生じる	プリンターは、設定backfeed > smartでカッティングモードで作動します。	セットアップをbackfeed > alwaysに切り替えます。 ▷ 構成設定。
印刷画像が片側のみ明るく印刷される	プリントヘッドが汚れています。	プリントヘッドを清掃する。 ▷ 6.3 ページ 18。

表 8 問題解決法

8 ラベル / 連続テープ

8.1 ラベル / 連続テープの寸法

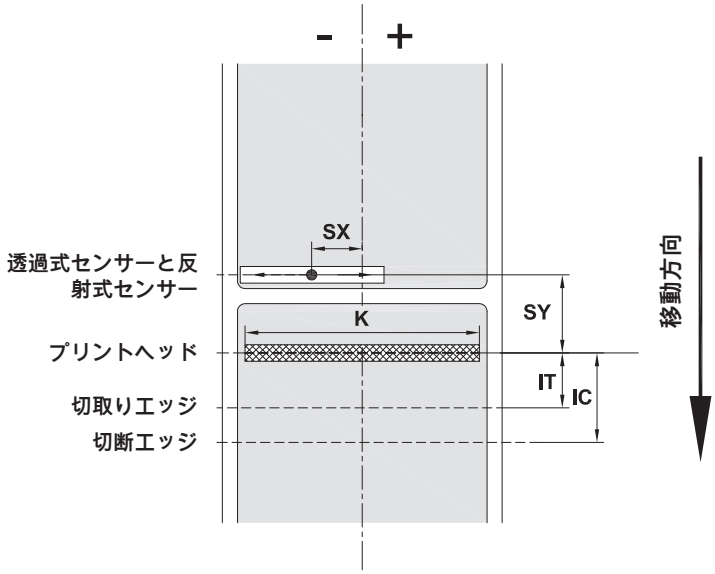


画像 18　ラベル / 連続テープの寸法

寸法	名称	寸法 (mm)
B	複数列のラベルの場合の ラベル幅	10 ~ 116 5 ~ 57
H	ラベル高さ	5 ~ 1000
-	切取り長さ	> 30
-	切断長さ	> 5
A	ラベル間隔	> 2
C	台紙の幅	9 ~ 120
GE	連続テープの幅	9 ~ 120
GS	熱収縮チューブの幅	5 ~ 85
DL	左枠	≥ 0
DR	右枠	≥ 0
E	厚いラベル	0.03 ~ 0.60
F	厚い台紙	0.03 ~ 0.16
QE	連続テープの厚さ	0.05 ~ 0.50
QS	熱収縮チューブの厚さ	≤ 1.1
V	フィード	≥ 7
	• 小型ラベル、薄型材料、強度のある接着剤では制限が生じる場合があります。 問題が生じる可能性がある用途は、テストし許可を得る必要があります。 • 曲げ剛性に注意してください! 材料はプリントローラーに付ける状態でなければなりません！	

表 9　ラベル / 連続テープの寸法

8.2 機器の各寸法



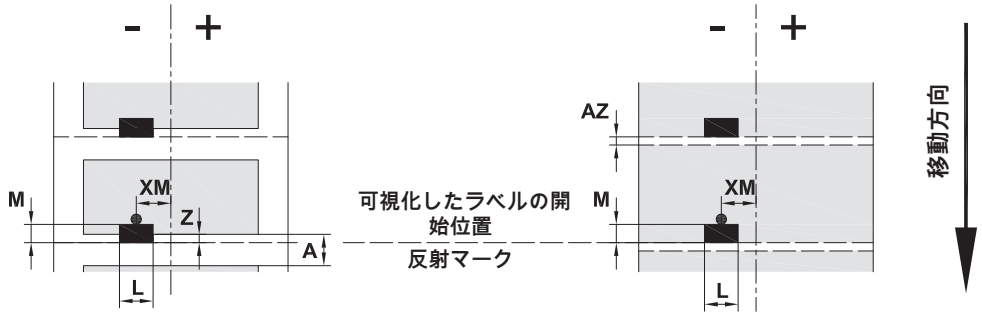
画像 19　機器の各寸法

寸法	名称	寸法 (mm)
IT	印刷列と切取りエッジの間隔	13.7
IC	印刷列とカッター切断エッジの間隔	20.3
K	印刷幅 203 dpi 300 dpi	 108.0 105.7
SX	透過式センサーおよび反射式センサーと用紙フィード中央の間隔 すなわち反射マークおよびパンチングの材料中心までの許容間隔	-58 ~ 0
SY	透過式センサーおよび反射式センサー と印刷列の間隔	44.9

表 10　機器の各寸法

8.3 反射マークの寸法

反射マーク付きのラベル　　反射マーク付きの連続テープ



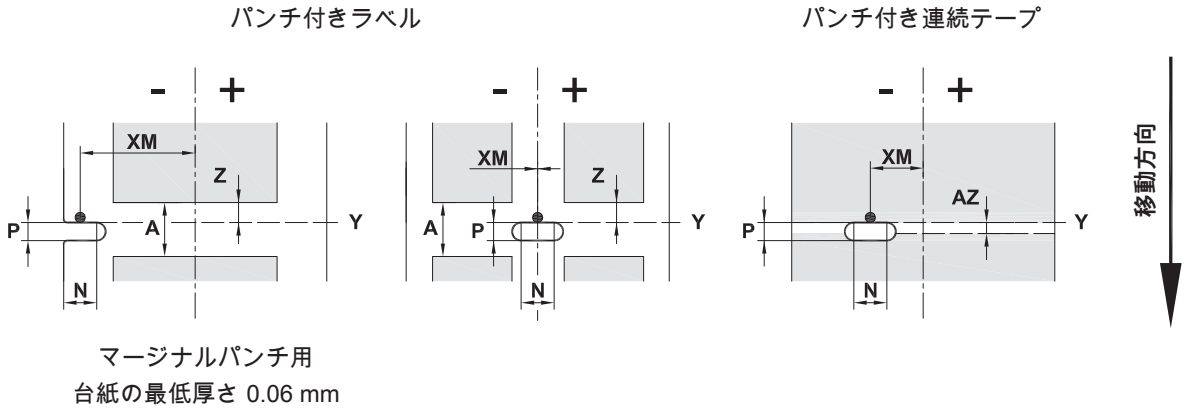
画像 20　反射マークの寸法

寸法	名称	寸法 (mm)
A	ラベル間隔	> 2
AZ	プレッシャーゾーン間隔	> 2
L	反射マークの幅	> 5
M	反射マークの高さ	3 ~ 10
XM	マークと用紙フィード中央の間隔	-58 ~ 0
Z	可視化ラベル開始位置と実際のラベル開始位置の間隔 ▶ ソフトウェア設定を調整する	0 ~ A / 推奨値 : 0
	• 記載内容は黒色のマークを対象としています。 • 他の色のマークは検知されない場合があります。▶ この場合、事前にテストしてください。	

表 11　反射マークの寸法

注記！
ラベルエッジセンサーによる反射マークの検知は、半透明材料の場合の場合、反射式のみならず透過式センサーでも可能です。

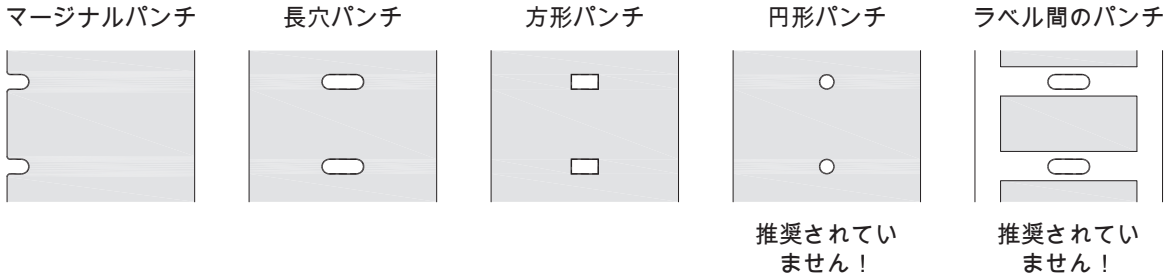
8.4 パンチの寸法



画像 21　パンチの寸法

寸法	名称	寸法 (mm)
A	ラベル間隔	> 2
AZ	プレッシャーゾーン間隔	> 2
N	パンチの幅 マージナルパンチの場合	> 5 > 8
P	パンチの高さ	2 ~ 10
XM	パンチと用紙フィード中央の間隔	-58 ~ 0
Y	透過式センサーで検知されたラベル開始位置から	パンチ後端
Z	検出されたラベル開始位置と実際のラベル開始位置の間隔 ▶ ソフトウェア設定を調整する	0 ~ A-P

表 12　パンチの寸法



画像 22　パンチの例

9 許認可

9.1 EU適合性宣言書に関する注記

EOS2およびEOS5ラベルプリンターは、以下のEU指令が定める必須健康安全要求事項が適用され、これらを満たしています。

- 指令2014/35/EU に適用される一定の電圧制限内で使用する電子機器
- 指令2014/30/EUが定める電磁適合性
- 指令2011/65/EUが定める 電子・電気機器における特定有害物質の使用制限

EU適合性宣言書

▷ https://www.cab.de/media/pushfile.cfm?file=3309

9.2 FCC

NOTE : This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. The equipment generates, uses, and can radiate radio frequency and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user may be required to correct the interference at his own expense.

10 索引

主電源電圧.....8
切り取る.....8
切取りモード.....16
反射マーク.....24
周辺環境.....5
問題解決法.....21
安全に関する注記.....5
機器の各寸法.....23
機器の概要.....6
清掃
　プリントヘッド.....18
　プリントローラー.....17
清掃に関する注記.....17
環境保護に配慮した廃棄.....5
納品内容.....8
設置.....8
転写フィルムフィードを調整する.....14, 15
転写フィルムを挿入する.....14
連続テープ.....22
適切な使用.....4
重要な情報.....4
開梱する.....8
電源供給.....5

え

エラー
　メッセージ.....19
　対策.....19
　種類.....19

さ

サービス作業.....5

す

スイッチをオンにする.....8

は

パンチ.....25

ふ

プリントヘッド
　損傷.....16
　清掃.....18
プリントローラーを清掃する.....17

ま

マージンストップ.....6

ら

ラベルを挿入する.....12
ラベル寸法.....22

り

リチウムバッテリー.....5

ろ

ロールラベルを挿入する.....12

28

このページは空白となっています。